年間授業計画　新様式例

立川　　高等学校 令和５年度（１・２学年用）　　教科　国語　科目　現代の国語

教　科：　国語　　科　目：　現代の国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　B　組

教科担当者：　（A組：　本領　弘之　）　（B組：　本領　弘之　）

使用教科書：　（　大修館書店「新編現代の国語」　）

教科　国語　　の目標：

【知識及び技能】	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、また、言葉が持つ価値への認識を深め、語彙を豊かにする。
【思考力、判断力、表現力等】	論理的に考える力・他者に共感する力・想像するカカを伸ばし、言葉で伝えあう力を高めるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉を使いこなす力を身につけるとともに、生涯にわたって読書に親しむ態度を養い、他者や社会に対する関心を育むことができるようにする。

科目　現代の国語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、また、言葉が持つ価値への認識を深め、語彙を豊かにする。	論理的に考える力・他者に共感する力・想像するカカを伸ばし、言葉で伝えあう力を高めるようにする。	言葉を使いこなす力を身につけるとともに、生涯にわたって読書に親しむ態度を養い、他者や社会に対する関心を育むことができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	１筆者のコミュニケーションに対する考えを読み取る。筆者の主張を踏まえ、コミュニケーションに対する意欲を持つ。　２場面や目的に応じて、適切な言葉を選ぶ。敬語の正しい使い方や類義語のニュアンスの違いを理解し、適切に使い分ける。	１ことばをひらく 「コミュニケーションは技術だ」　２ 日本語を使いこなす　「ことばの使い分け」	１・筆者の主張と筆者の体験の関係を理解している。・「スポーツ」とコミュニケーションの共通点を的確に読み取っている。・積極的にコミュニケーションをとろうとしている。２改まった場面にふさわしい言葉遣いや、文末表現の使い分けについて理解している。敬語の使い分けを理解している。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
２学期	３説明のしかたを考えながら読む。文章全体の構成や接続表現の役割をとらえる。　４大切なことを落とさずに、正確に聞く。自分にとって必要な情報を意識して、メモを取りながら聞く。　５対比の関係に着目し、その意図を考えながら読む。具体例の働きや具体と抽象の関係を捉え、筆者の主張を読み取る。	３わかりやすく説明する 「生きることと食べることの意味」　４ 聞く力を育む 「聞き取りのレッスン」　５ 論理を読み取る　「水の東西」	３・接続表現の言葉の働きを理解している。・問題提起の部分とそれに対する筆者の答えの部分を把握している。・積極的に学習に取り組み、説明のしかたをとらえようとしている。 ４・話し言葉の特徴や表現などをふまえて、情報を正確にきっき取っている。・聞きとった情報を整理してメモしている。 ５・さまざまな具体例やエピソードがどのようなことを意図したもにかをとらえている。・比喩表現の意図をとらえている。・積極的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
３学期	８文章とグラフとの関係に注意しながら、文章を読み取る。筆者の主張とその根拠の関係を吟味しながら読み、自分の意見を持つ。　９筆者の問題意識と主張を具体例に気をつけながら読み取る。読み取ったことをふまえて、自分の考えを広げる。	８情報と向き合う 「どこもかしこもプラスチック！」　９ 社会に目を向けて　「何のために働くのか」	８・グラフの種類とその特徴を理解している。・論旨を理解し、海洋プラスチックごみ問題について考えを持っている。・海洋プラスチック汚染について、自分の考えをもとうとしている。 ９・筆者の主張とその根拠の関係についてりかいしている。・「何のために働くのか」という筆者の主張をとらえ、それに対して自分の考えをもっている。・自分の考えをもとうとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
							合計 73